

# 令和8年度 予算が成立!

## あいらまし

令和8年第3回定例会は3月3日から3月16日まで開催されました。町長から提出された案件は、損害賠償に係る専決処分報告2件、令和7年度補正予算8件、令和8年度当初予算11件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定16件、計画の一部変更1件、計画の制定1件、人権擁護委員に係る諮問1件の計45件。追加議案として条例の一部改正2件、工事請負契約の変更1件の計3件であり、すべて原案のとおり、可決しました。

一般質問は6人の議員が2日間にわたり行いました。

### 【一般会計予算の概要】

総額は93億円

前年度比6900万円の減額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。



歳出は、物価高が及ぼす影響や少子高齢化に伴う義務的経費の増加などが見込まれる。内部管理経費の節減や、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別することにより、事業費の圧縮を図る。

令和8年度末の町債現在額は、前年度比3億9929万円の減の約76億4104万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。

### 【主な予算】

『歳入』

町税4.7%増!

個人町民税の現年度分は、事業所得に物価上昇の影響が懸念されるが、給与及び農業所得の伸長により増額を見込む。法人町民税の現年度分は、一部の業種で持ち直しが続いているため増額が見込まれる。

町債発行は予算総額の10%以内、かつ元金償還額以内!

町債は、後年度に交付税措置のある過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債を活用。前年度比で5040万円減の6億7980万円を計上。

『歳出』

○総務費

地域おこし協力隊事業

5900万円

地域協力活動を通して、定住・定着化を図る。

○民生費

出産手当支給事業

900万円

第1子から一律20万円の支給に拡充。

○衛生費

ごみ焼却施設及びし尿処理施設跡地整備事業

1億5900万円

ごみ減量化に向け、資源ごみ等の一時保管を目的としたストックヤードを整備。

○農林土木費

農業用機械整備・雇用就農支援事業

1000万円

担い手の確保と育成及び経営の安定を図る。

○商工観光費

風評被害対策事業

4414万円

本町の復興に向けた県外学校向けバス助成、プレミアム付旅行券事業、旅行エージェント支援。

定住促進事業

900万円

移住者向けの新築・中古住宅購入の補助。

○土木費

社会資本整備総合交付金事業

2億5802万円

町道の舗装長寿命化修繕計画策定業務委託や町道堅田三ツ和線舗装補修工事、町道三城潟天鏡台線舗装補修工事。

○教育費

猪苗代中学校駐車場舗装工事

2800万円

中学校体育館北側駐車場の舗装。

学校給食無償化事業

5700万円

小中学校の児童生徒を対象とした支援。

### 一般会計予算の主な使い道

町民一人当たり769,486円

※3月末の人口12,047人で試算し、予備費は含みません

衛生費 59,159円 (▲5,314円)	農林水産業費 54,065円 (8,933円)	商工観光費 37,113円 (1,418円)	土木費 131,681円 (67円)	消防費 40,110円 (3,069円)
民生費 132,909円 (6,767円)				教育費 116,021円 (2,798円)
総務費 97,585円 (▲5,700円)				災害復旧費 25円 (1円)
議会費 7,654円 (▲490円)				公債費 93,164円 (5,703円)



※ ( ) 内は対前年比

予算に係る主な質疑は、4ページ5ページの『予算特別審査委員会』をご覧ください。